



寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 寿楽荘
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705
URL <https://www.futabakai.or.jp>
e-mail juryakusou@futabakai.or.jp

第80号



琴清苑 落成

社会福祉法人 双葉会 理事長 小峰 望明

此度の琴清苑新築に当たりましては、厚生労働省、東京都、奥多摩町、奥多摩町議会並びに独立行政法人福祉医療機構及び東京都福祉保健財団を初め、関係官庁の方々には適切なご指導を賜り、お蔭様をもちまして初期の目的を遺憾なく達成することができ誠に有難く心より感謝申し上げます。

また、昨年一月に工事着手し、施工中は大型車の往来や騒音等に地元の皆様方には大変ご迷惑をおかけ致しました。ご理解あるご協力を賜り誠に有難うございました。

この事業推進の中核を成す用地確保につきましては、土地所有者皆様方には古くから守り伝えられてきた先祖伝来の貴重な土地を、社会福祉事業を認識せられ、建設用地として快く奥多摩町へ提供いただき、計画地周辺の土地所有の住民皆様のご同意も賜りました行為に対しまして深甚なる敬意を表す次第でございます。

また、奥多摩町長からその建設用地である町有地を奥多摩町議会へ「普通財産無償貸付について」の議案を提出いただき、町議会議員全員のご理解のもとに原案のとおり可決、ご承認を賜り、奥多摩町から無償でお借りして使用でき、心をより感謝を申し上げます。また、奥多摩町から整備費の補助金につきましても重ねて御礼申し上げます。

さて、この設計監理に於きましては、社会福祉施設の設計監理が豊富で、介護福祉事業の現状を把握している「株式会社 高水一臣建築事務所」が受注されました。震災による復興や開催決定した東京オリンピック・パラリンピック等の影響により資機材等の高騰により度重なる設計変更をいただきましたが、地域及び環境との調和に配慮し、御覧の通り立派にその威容振りが伺えます。

建築工事に於きましては、都内で多くの特別養護老人ホーム新築工事実績があり、又、平成十九年三月に移転した水川保育園新築工事も担当され、運営、技術、堅実性、共に多摩随一を誇る「扶桑建設株式会社」が受注されました。令和元年十二月、中国武漢に端を発した新型コロナウィルスは、年明けから瞬く間に全世界を席巻し、我が国においても緊急事態宣言が発出されるなど人の移動や経済活動の制限などの自粛行動が行われました。関連事業所の献身的御努力もあり予定を着実に遂行され、工期通り一月末日を以って滞りなく完成し無事に竣工の運びとなりました。そのご労苦に対しまして心より感謝申し上げる次第で御座います。

省みずと当法人双葉会の創設者である「故 佐藤黙童 大和尚」に於きまして、昭和五十二年七月、この常磐地域に特別養護老人ホーム「琴清苑」を開設し、当法人の基本理念である「心の福祉」を実践し、ご利用者皆様や地域福祉の向上をめざしてまいりましたが、建物等の老朽化が著しく、施設入居者等の利用に支障を来し始めましたので、「佐藤泰信 常務理事」を中心に改築計画を推進してまいりましたところ、平成二十九年十一月一日、持病が突然悪化し、遂に帰らぬ人となりました。

故 佐藤泰信 常務理事の遺志を継ぎ役員が一丸となり計画を推進し無事本日を迎えることができました。ここに、ご臨席賜りました各位に対しましてあらためて御礼を申し上げます。

改築した施設内容は、既存の施設を踏襲した「特別養護老人ホーム」とし、鉄筋コンクリート造りの地下一階、地上三階建て、十名増床した九六名の定員とし、全室個室の従来型としました。また、奥多摩町と平成二十七年一月八日に締結した「災害時における福祉避難所（二次避難所）の開設等に関する協定書」に基づき、この施設内に「防災拠点型地域交流スペース」を整備しました。

このスペースは、今後、災害時における避難所はもとより、開放することにより、地域住民の憩いの場などに活用していただければと考えております。

結びにあたり、改築事業にご寄付を賜りました皆様様に感謝を申し上げ、今後も法人役員が地域社会と連携して行くと共に、健全なる法人事業を継続し、また、「心の福祉」を継承し、より良い老人処遇を目指し、尚一層努力を傾注する所存でございますので、何卒ご臨席いただきました皆様方には今後とも絶大なご指導とご後援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人双葉会事業計画

I 基本方針

今年度は介護報酬の改定年度であり、改定の柱である、1.感染症や災害への対応力強化、2.地域包括ケアシステムの推進、3.自立支援・重度化防止の取組の推進、4.介護人材の確保、介護現場の革新、5.制度の安定性・持続可能性の確保、を中心に全役・職員が一丸となって推進していきます。

琴清苑新築工事事業については、今年2月に引渡、3月に落成式・内覧会、4月には引越並びに運用開始、7月には既存施設の取壊しも完工予定であり、「全従来型個室96名定員、中規模防災拠点型地域交流スペースを備えた施設」において、施設の創立当初からの理念を念頭により良いサービスを提供、利用者皆様に喜んでいただけるよう運営展開を進めてまいります。

さらには、深刻な介護職員の人材難、待機者の激減等々と課題は山積していますが、より良い福祉サービスの提供、町内居住者の雇用の確保、新卒者を含めた若年層の専門職育成、EPA介護福祉士候補生・外国人介護技能実習生の受入れ・育成に努めていきます。

氷川保育園、双葉会診療所においても、感染症予防対策をはじめ労働環境、安全環境管理の向上を推進します。

寿楽荘事業計画

I 基本方針

新型コロナウイルス感染症の収束状況が全てとなりますが、現時点で明るい材料は非常に少ないと言えます。何とか感染者もなく現時点まで運営してくることが出来たので、収束まで施設職員一丸となり予防活動に努めていきたい。

昨年度の不適切な介護サービスについては業務改善計画に則った立て直しが急務であり、町の指導・助言をうけながら改善を目指します。事の起こった背景には新型コロナウイルス感染症以外に職員不足による現場職員のストレスや不安感もあり、先ずは外国人を含む職員の雇用と業務の効率化を促進させたい。

介護報酬改定は+0.70%とされていますが国が初めてインセンティブにシフトした報酬改定であり、全ての職員の理解と協力が得られないと簡単に減収となる厳しい改定と認識しています。

コロナウイルス・人員不足・報酬改定と課題は山積していますが、寿楽荘は立ち止まることはできないので多職種連携で施設の体制整備につとめ、利用者にも職員にも安心と安定を提供できる運営を目指します。

II 重点目標

(ア) 業務改善計画に基づく介護サービスの適正化に努めます。

(イ) 感染症や災害への対応力強化

感染症・災害時対策としてBCPの作成・見直しおよび委員会による訓練（シュミレーション）を計画します。

(ウ) ICTを活用した研修への参加・受講により認知症対応や人権擁護、ADLの維持向上など職員の資質向上に取り組みます。

(エ) 自立支援・重度化防止の取組の推進

介護保険制度の目的に沿って、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を目指します。

(オ) 介護人材の確保・介護現場の革新

若年層の雇用促進と再雇用制度の充実および外国人人材の確保に努めます。

労働環境の整備として衛生委員会の機能を強化し労働状況の適正化に努めます。

(カ) リスクマネジメントの強化

国より示される書式にあわせ事故報告書の整備を行いながら、リスクマネジメント担当者を配置して施設内にある危険因子への対策を講じます。

(キ) 創立時よりの理念（理想）、目標の周知と再認識

【愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲を理想に利用者自身が主体となって生活をエンジョイできる施設を目指していきます。】これら理念と目標の周知・再認識に努めます。

(ク) 前年度の大幅な減収および今年度の減収見込みに応じた老朽化設備の更新と現場職員の負担軽減・業務省力化対策として見守り機器等の計画的な見直し・整備を図ります。

資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	寿楽荘会計
事業活動収入計(1)	795,456,000
事業活動支出計(2)	794,703,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	753,000
施設整備等収入計(4)	0
施設整備等支出計(5)	11,089,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-11,089,000
その他の活動による収入計(7)	12,416,000
その他の活動による支出計(8)	2,000,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	10,416,000
予備費支出(10)	80,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0
前期末支払資金残高(12)	391,494,132
当期末支払資金残高(11)+(12)	391,494,132



リハビリ室より



～ コロナ禍でも笑顔で ～

リハビリでは個別リハビリの他に「体操」や「習字・季節の飾り作り」等の集団でのリハビリも行っています。「習字」の時間には利用者皆様の滑らかな筆運びに職員から感嘆の声が上がります。コロナ禍でも皆様に笑顔で過ごして頂けるよう内容を工夫していきますので、今後どうぞよろしくお願い致します。



栄養課からの一言



例年になく降雪量が少なく、伴って梅や桜の開花も早く、いつもより春の訪れを心待ちにしておりましたが、世界的に発生しています新型コロナウイルスによって、施設内を含め、公私共に厳戒態勢を敷いているところです。早く収束することを願うばかりです。

今回は年度初めということで寿楽荘の行事食についてお知らせします。お正月にはおせち料理、桃の節句には散らし寿司、七夕は星のお麩をちりばめたそうめん汁、春・秋お彼岸のお饅頭、クリスマスのローストチキン、年末の年越しそば等です。このような食事を通して、食べる楽しみは勿論のこと、日々の生活の中で季節を感じて頂ければと思います。施設内での生活を食の面でも楽しんで頂けるよう栄養課一同努めてまいりますので今年度もよろしくお願いいたします。

成人おめでとう



成人を迎えた技能実習生4名

成人を迎え、これからは大人として力をもち、自分の目標に向かって努力を続ける。そして、今まで育ててくれた両親に孝行し、今まで支えてくれたすべての人達へ感謝の気持ちを伝える。生きていきたい、私らしくこれからの人生を



成人を迎えて
シティシルビア ムルディアニ



日常生活 行事活動状況

2月2日 『節分豆まき』

感染症予防対策のため新聞紙を丸めた物を使用し、豆まきを実施しました。



3月20日 『彼岸供養』

感染症予防対策のため密を避け、方丈様の法話時のアクリル板の使用やお焼香の中止等を行い彼岸供養法要を実施しました。



3月11日 『外食会』

3月生まれの方を中心に参加された外食会の写真です。(レストランSAKAのご厚意で店内は貸し切りとなっています。)

中学生向け 認知症サポーター養成講座

毎年寿楽荘にて認知症サポーター養成講座を実施していますが、今年度は奥多摩中学校へ行き、中学3年生に認知症サポーター養成講座を開催してきました。

奥多摩町という地域特性か、祖父母と同居している子も多く、熱心に講座を聞いて頂きました。



感染症予防対策

感染症予防対策として、全職員が専用の携帯用ポシェットにアルコールジェルを入れて随時消毒を行っています。



当施設職員に対する自主PCR検査の実施結果について

新型コロナウイルス感染対策として、施設全職員121名に対する自主PCR検査を3月15日より18日の間に実施し、3月23日に全員が陰性であるとの結果が出ましたのでお知らせいたします。

今後も、更なる施設内感染予防に努めてまいります。

今後の行事予定

- 4月
 - ・ 花祭り(降誕会)
 - ・ 花見・新緑ハイク
- 5月
 - ・ 外食会
 - ・ マス釣り
- 6月
 - ・ 外食会
 - ・ 夏物衣料品訪問販売



※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今後の行事を中止・変更することもあります。利用者皆様の健康・安全の為、ご理解・ご協力をお願いいたします。

◇編集後記◇

やわらかな陽射しの中、寿楽荘の周りでもウグイスの声が聞こえてきました。

新年度は穏やかな一年になると良いですね。

浅